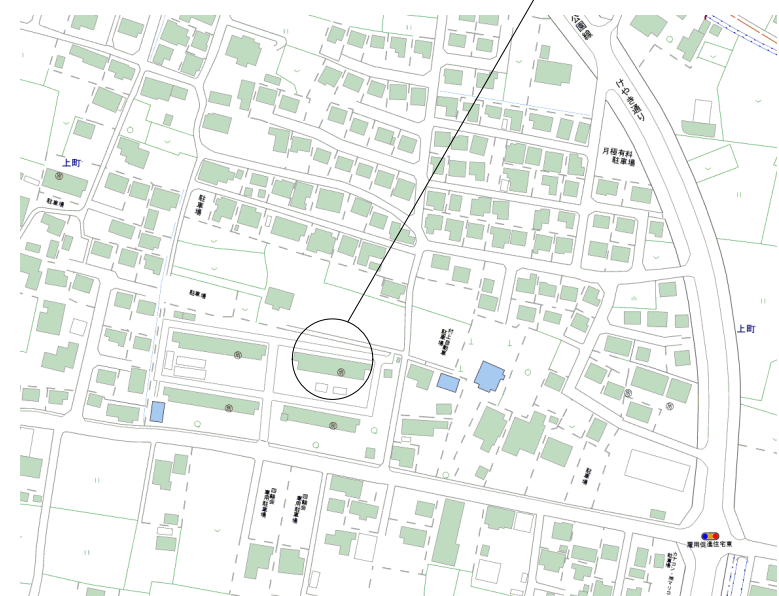
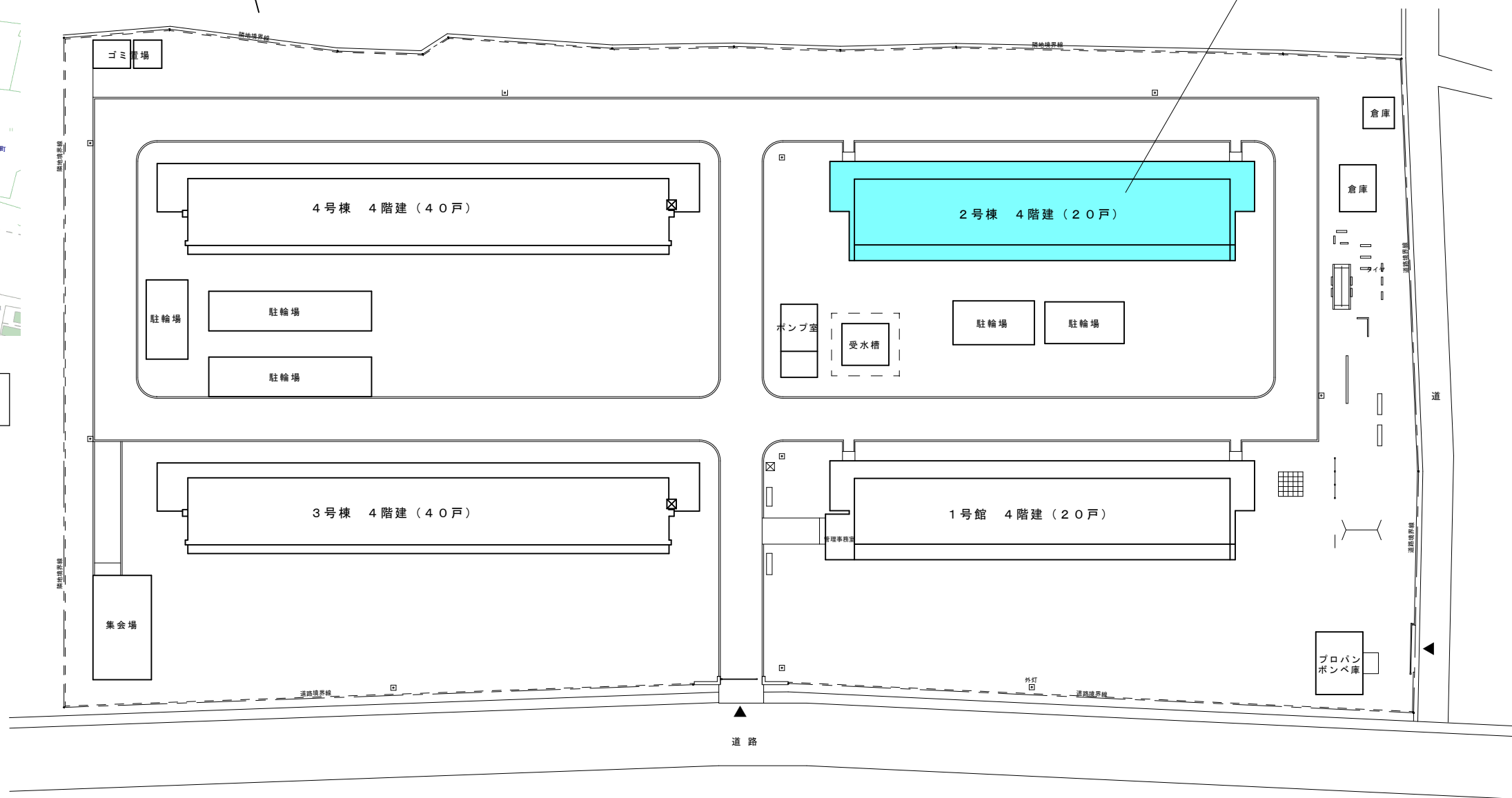




施工場所：上町住宅2号館
甲府市上町1248番地

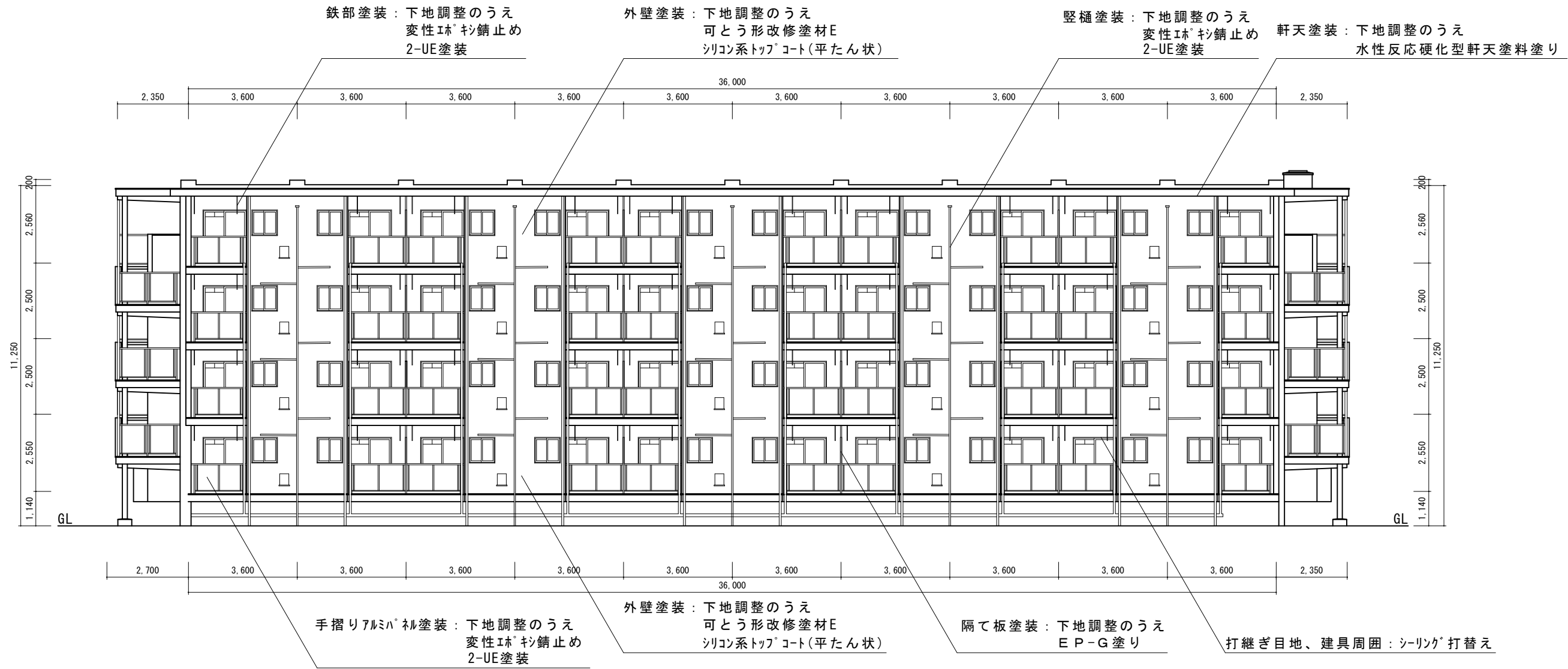


案内図 S=1:free



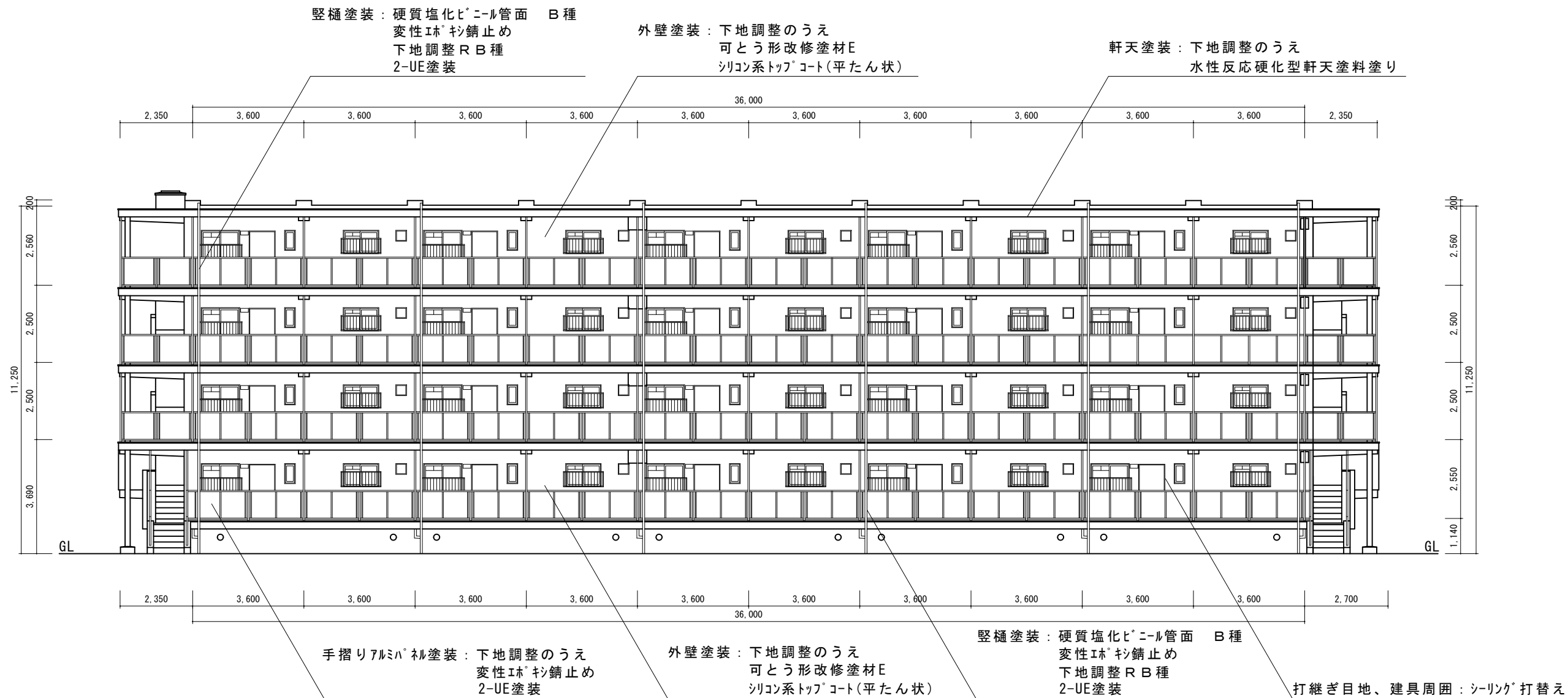
施工箇所：2号館

配置図 S=1:500



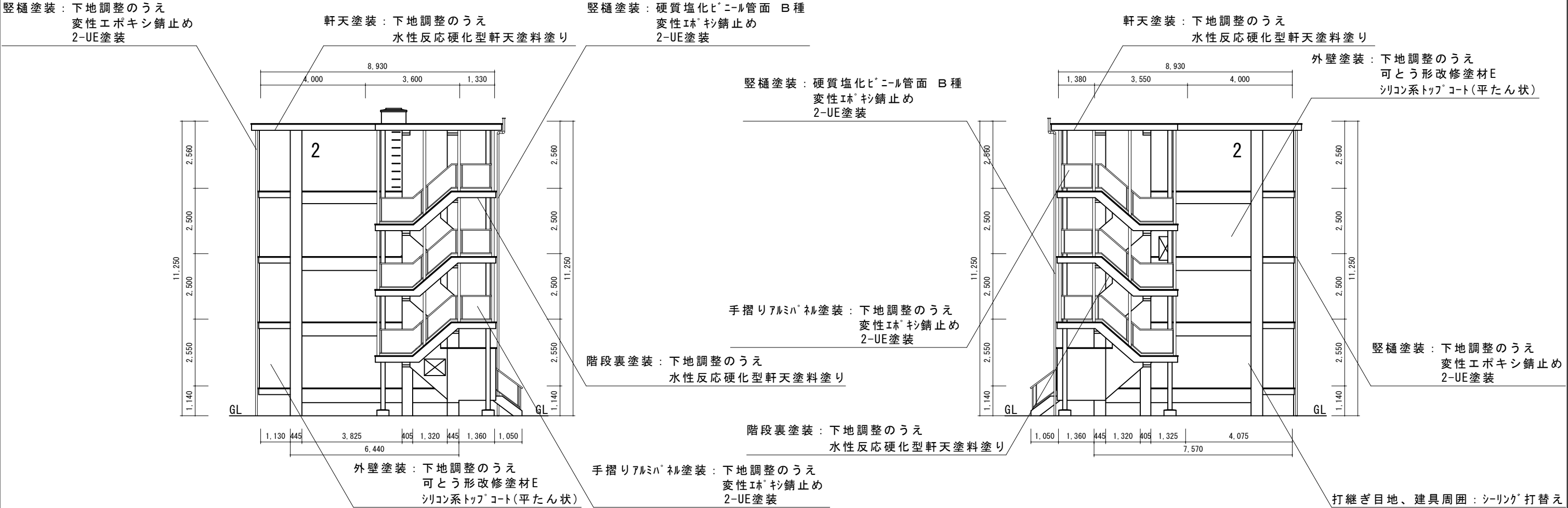
外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P-G塗り	・既存シーリング撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・既存シーリング撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/m ² 注入口付アンカボンド部分EP樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニル管面 B種 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカボンド部分EP樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・笠木樹脂塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法が適用） 非歩行用カーケルゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性EP樹脂充填	・スチールタタキ類塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・バランス釜面樹脂塗膜防水 X-2（密着工法が適用） 非歩行用カーケルゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性EP樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L=50×50 L=750 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・シーリング打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミバルコニー塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂プライマー 下地調整RB種 EP樹脂系塗材2回塗	・シーリング打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性EP樹脂塗塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	防鳥ネット取付
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	・新規防鳥ネット取付部屋（2-302、2-303、2-403）
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		・既存防鳥ネット一時撤去、再設置（2-305、2-405）
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化型軒天塗料塗り		※1部屋/2ベランダ、2-305は1ベランダのみネット設置あり

南 立 面 図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P-G塗り	・既存シーリング 撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・既存シーリング 撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーボルト部分イボキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニル管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーボルト部分イボキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・笠木ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性イボキシ樹脂充填	・スチールタタキ類塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・バランス釜面ウレタン塗膜防水 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性イボキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L=50×50 L=750 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・シーリング 打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミパネル塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・シーリング 打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性イボキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	防鳥ネット取付
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	・新規防鳥ネット取付部屋（2-302、2-303、2-403）
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		・既存防鳥ネット一時撤去、再設置（2-305、2-405）
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化型塗料塗り		※1部屋/2ベランダ、2-305は1ベランダのみネット設置あり

北 立 面 図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P－G塗り	・既存シーリング撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・既存シーリング撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーベトンコンクリート部分Eポキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーベトンコンクリート部分Eポキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・笠木ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスクリス入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性Eポキシ樹脂充填	・スチールタタキ類塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・バランス釜面ウレタン塗膜防水 X-2（密着工法がラスクリス入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性Eポキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L-50×50 L=750 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・シーリング打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミハル塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・シーリング打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性Eポキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	防鳥ネット取付
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	・新規防鳥ネット取付部屋（2-302、2-303、2-403）
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		・既存防鳥ネット一時撤去、再設置（2-305、2-405）
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化形塗料塗り		※1部屋/2ベランダ、2-305は1ベランダのみネット設置あり

東立面図 S=1:150

西立面図 S=1:150